

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
6年	外国語科	Unit7 My Best Memory 小学校生活・思い出	6年1組36名	6年1組 教室	小山 和歌子

1 単元について

単元マップ

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構成すること

子どもの深い学びの姿

自分が伝えたいことをどのような内容で紹介したらよいか考え、これまでに慣れ親しんだ語句や表現から合うものを選んで、伝えようとしている姿

解決・まとめ

これまでに学習した表現を使って、小学校生活の思い出をALTや保護者に向けて発表する⑧

国語科：話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめてきた。

図工：11月
わたしの大切な風景
(思い出)

卒業に向けた取組
12月～
卒業文集・卒業式

国語：2月
今、私は、ぼくは

特別活動（委員会）：2月
思い出発表

地域行事：3月
もちつき大会

育成する思考力・判断力・表現力「聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合う力」

小学校生活の思い出を伝える表現を考えて、参観日で発表会する学習計画を立てる。①

問題設定

英語を使った学校行事の言い方を身に付け、自分の思い出を英語で言えるようにしながら、小学校生活を振り返る。②

学級で一番人気の行事を予想し、思い出に残る学校行事について、友達から聞いたり、答えたりする。③

これまでに学んだ理由や感想を表す表現を使って、自分の思い出やその理由について、書いたり話したりする。④

自分の思い出について、グループの友達と交流し、経験したことや伝えたい気持ちを加え、発表会に向けたスピーチを考える。⑤（本時）

英語が入ったイラストをつくり、自分の思い出を分かりやすく伝える。⑥

小学校の思い出発表会に向けて、グループで発表の仕方を考える。⑦

習得・活用

身に付けさせる知識・技能

I like~ /I enjoyed~
I ate~. /It was~.

Sport Day, School Trip, Field Trip,
Drama Festival, Marathon
Mochi Making Festival

What's your best memory? My best memory is the school trip.
I(We) enjoyed shopping. I(We) went to sapporo. I(We) ate pasta.
What did you eat? That's nice/Wow/Great/Sounds nice

2 本時の学習

(1) 本時の目標

小学校生活の思い出を伝えるスピーチを友達と交流し、質問やアドバイスをし合うことを通して、自分の思い出をよりよく伝えるための工夫をしようすることができる。

(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開【5時間目／8時間扱い】 *思考アクティブ化シート B-③【活用重視】

	子供の学習活動	子供の思考	☐ 教師の働きかけ ◎主な発問 ◆評価（評価方法） ☆思考アクティブ化ポイント
導入 5分	1 Greeting 2 Small Talk ・What did you eat yesterday? 3 Today's goal		☐ HRTとALTのやり取りを見せる。
	自分の思い出を友達と伝え合い、これまでに習った表現を使ってスピーチを詳しくしよう。 ・パフォーマンスシートで今日のゴールを確認する		
展開 35分	4 Review&Practice My best memory is the school trip. I went to the otaru aquarium. It was fun. ・行事や理由を伝える表現を確かめる。 My best memory is～. [SportDay,SchoolTrip,FieldTrip,Drama Festival] I went to～./I enjoyed～./I ate～. It was～. [fun,exciting,delicious,amazing,beautiful,good]	発音が難しいな。 修学旅行が思い出に残っているんだ。	◎前時に書いたシートを見て、自分の思い出をグループで伝え合い、友達の思い出は何かを聞き取ろう。
	5 Demonstration ・HRTとALTのやり取りを聞く。 A:Hi! I'm wakako. My best memory is the field trip. I enjoyed fruit picking. It was delicious. B:What fruit did you eat? A:I ate grapes. B:That's nice! Do you like grapes? A:Yes,I like grapes very much. ・やり取りに使う表現をまねる。 What did you [eat,see,enjoy]? Where did you go?	だいたいの内容が分かった。 It was delicious. が聞き取れた。 聞き取れない言葉があった。 何を食べたのか聞いているな。 この表現なら言えそう。	☐ demonstrationから聞き取った言葉を発表させる。 ◎どんな表現が聞こえたか、発表しましょう。 ☐ スピーチの内容を増やしたり変えたりすることを確認する。
	6 Activity A: My best memory is the school trip. I went to the otaru aquarium. It was fun. B: What did you enjoyed? A: I saw the dolphin show. B: That's good!		◎この表現を使って友達のスピーチにないことを質問したり、質問に合わせて答えたりしよう。

	・グループで感想やアドバイスを伝え合い、自分のスピーチを工夫する。 「入れたいことがあるから増やそう。」 「I played～.を付け加えよう。」 「何をした時が楽しかったのか知りたいな。」 「こんな風にしてみたけど、どうか。」 ・工夫した表現を使って話す。 My best memory is the school trip. I went to the otaru aquarium. I enjoyed the dolphin show. It was fun. ・友達のアドバイスを生かして話す。 ・友達のスピーチを聞き、相づちを打ったり、感想を伝えたりする。 友達に質問やアドバイスをしてもらい、思い出を伝えるスピーチの内容を増やして詳しくすることができた。	文を増やしたいけど、何を入れるといいかな。 あの時したことは何だったかな。 I enjoyed～.を使ってみたら？ これ、どうやって言えばいいの？ いい質問やアドバイスをもらえてよかったな。 Great! nice! 楽しかったことが伝わるスピーチになったね。	◎友達に聞かれたことをスピーチに加えたり、グループの友達と相談したりしながら、自分のスピーチの内容を増やしましょう。 ☆自分の思い出を詳しくするために、理由を付け加える。 【思ア⑩理由付ける】 ◆友達からの質問やアドバイスを生かし、これまでに身に付けた表現を使って、自分のスピーチを工夫・改善している。 (観察・発言、ワークシート) ◎表現が増えて詳しくなったスピーチを友達と発表しましょう。
終 末 5 分	7 Reflection ・友達から質問やアドバイスをもらって、話す内容を増やすことができた。 ・友達にアドバイスをすることができた。 ・思い出発表会の時には、今日できるようになったことを生かして話したいな。		□聞き手と話し手のどちらの立場からも振り返らせるようにする。

(3) 評価

◇評価規準の具体（評価方法：観察・発言、ワークシート）

【思考・判断・表現】

十分に満足できる： これまでに身に付けた表現を活用し、友達の質問に答えたこと以外にも、自分が伝えたいことを加えてスピーチを工夫・改善している。

おおむね満足できる： 友達の質問に答えたことやアドバイスを生かしてスピーチを工夫・改善している。

努力を要する児童への指導： 友達の質問の答え方が分からないときや、スピーチに加える内容に困っている場合には、友達からアドバイスをもらうよう促したり、自分の伝えたい思いを掲示されている表現を使って、教師と一緒に考えたりしている。

(4) 板書計画

1 2 / 6 (Fri) ☆自分の思い出を友達と伝え合い、これまでに習った表現を使ってスピーチを詳しくしよう

Greeting

small talk

today's goal

review&practice

demonstration

activity

reflection

My best memory is the field trip.

I enjoyed fruit picking.

I ate grapes.

I like grapes.

It was fun.

What did you eat ?

I ate _____.

What did you see ?

I saw _____.

What did you enjoy ?

I enjoyed _____.

Where did you go ?

I went to _____.

Do you like _____ ?

I like _____.

My best memory is _____.

school trip

field trip

class

sports day

drama

retreat

festival

class

graduation

entrance

mochi
making
festival

marathon

recreation

ceremony

ceremony

本単元で育てたい資質・能力

【知識及び技能】

小学校で経験した行事や思い出について、言ったり聞いたりすることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

過去の表現を使い、小学校生活の思い出やその理由や感想などを伝え合ったり、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測して読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

他者に配慮し、相手に伝わるように話したり、相手が言ったことを共感的に受け止める言葉を返しながらかいたりして、小学校生活の思い出について伝えようとする。

単元について

【聞くこと】ウ ゆっくりはつきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

【読むこと】イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

【話すこと】イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な（やり取り）語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

【話すこと】ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

【書くこと】イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

本単元は、小学校6年間の学校生活を振り返り、自分自身の思い出に残っている出来事を友達と伝え合ったり、学級全体に発表したりする内容である。

ここでは、Unit 5「My Summer Vacation」で扱った過去形を使って表現できるようにするが、過去形には、動詞の後に-edなどを付ける規則動詞と、went, ateなどの不規則に変化する不規則動詞があるが、本単元では、音声で現在形と過去形の違いが分かりやすい不規則動詞を中心に扱っていく。

また、これまでに学んできた既習表現を繰り返し使えるようにし、それらを用いて、友達やALTと積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。

児童の実態

事前調査から、英語の学習が「好き」「少し好き」と回答した子供は66%だったが、「あまり好きではない」「好きではない」と回答した子供は34%おり、「発音が難しい」「英語の綴りや読み方が分からない」という不安をもっていることが分かった。

一方、子供たちは、「英語の学習は役に立つ」と考えており、「外国の人と話せるようになりたい」「英語ができるようになりたい」という思いをもっている。

これまでの外国語の学習を通して、子供たちは、音声から言葉や文を聞き取って会話の内容を推測したり、身に付けた表現を使って友達と交流したりする活動に意欲的に取り組んできた。

既習のUnit 5「My Summer Vacation」では、初出の過去形を使って、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだこと、感想などの表現を経験しており、読んだり話したりする学習を繰り返すことにより、過去形の表現に慣れ親しむことができた。

また、子供が、夏休みの思い出をグループ内の友達に発表したり、ALTや学級全体に向かって発表したりする活動を取り入れたことで、相手意識をもって話したり、内容を理解しうなずきながらかいたりすることができるようになってきた。

学級の中には、「どう表現するとよいか分からない」「英語で話すことに自信がない」などと感じている子供もいることから、活動への意欲や目的意識を大切にしながら、聞く、まねる活動など、スモールステップを繰り返し、語句や表現を確実に身に付けられるようにする。

また、語句や表現を使いながら友達と伝え合う経験を積み重ねることで、すべての子供が、「できた」と実感し、自信をもって英語で伝え合うことができるようにしたい。

単元の目標

自分の小学校生活の思い出を伝える活動を通して、小学校生活の経験や気持ちなどを伝えるための語句や表現を身に付け、他者に配慮しながら積極的に伝えようとする。

単元の指導について

本単元では、「What's your best memory?」「My best memory is～」の表現や学校行事、出来事などの言い方が分かり、子供一人一人が自分の思い出に残っている出来事を表現できるようにしたい。

また、これまでに学習した「行った場所」「楽しんだこと」「食べたもの」「見たもの」「好きなこと」「感想」などの表現を使って、思い出に残ったことに理由付けをして伝えることができるようにしたい。

「つかむ・見通す」段階では、本単元のゴールの言語活動について、デモンストレーションの実施を通して、学習の見通しや身に付ける語句、表現についての目的意識をもたせ、小学校生活の思い出を参観日に保護者に向けて発表する活動を取り入れる。

特に、コミュニケーションの際には、「笑顔で」「目を見て」「はっきりした声で」「相手の言ったことに反応しながら」の5点を大切にさせ、英語で話す姿勢やジェスチャーを使うことにも気付かせたい。また、写真などを活用して6年間の出来事を振り返りながら、これまでに学習した表現を使ったり、行事等の表す新たな語句を知ったりできるようにする。

「追究する」段階では、単元後半の「思い出発表会」に向け、必要な語句や表現を身に付けたり、スピーチの内容を考えたり話したりできるようにする。

そこで、「聞く活動」で子供が音声の特徴に慣れてから、「話す活動」に取り組ませるなど、インプット→アウトプットの流れを重視し、語句や表現を身に付ける学習を行うとともに、授業で扱った語句や表現を使いながら友達と尋ね合う場面を毎時間設定し、英語でのコミュニケーション機会を増やす。

特に、本時は、「思い出発表会」に向け、自分の思い出とその理由を友達に聞いてもらったり、友達からアドバイスを受けたりする活動を通して、自分のスピーチの内容を工夫・改善できるようにする。

「まとめる・広げる」段階では、相手の理解を確かめながら話すことを意識し、既習の表現を使って思い出を発表するとともに、聞く側も相手の話に相づちを打ったり、質問したり、感想を述べたりするなど、互いに英語で話すことの楽しさや達成感を味わわせたいと考える。

単元の指導に当たっては、国語科で学んだ、自分の思いや考えが聞き手に伝わるような読み方を生かし、英語の発表においても、聞き手に分かりやすく伝わるよう、表現の仕方を考えて話すことができるようにしたい。

また、小学校生活を振り返る本単元の学習を通して、子供たちの卒業に向かう意識を高め、卒業文集の作成や卒業式などの取組へとつなげていきたい。

単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
小学校生活で思い出に残っている学校行事や出来事について話し、語句や表現の仕方を身に付け、聞いたり話したりすることができる。	小学校生活の思い出について、自分の経験や気持ちを伝え合ったり、思い出とその理由について、例を参考に語順を意識しながら考え、表現することができる。	自分の思い出を伝えるための表現を身に付けようとしたり、身に付けた表現を使って相手に伝わるように工夫しながら、心に残った思い出を伝えようとしている。

子どもの深い学びの姿

自分が伝えたいことをどのような内容で紹介したらよいか考え、これまでに慣れ親しんだ語句や表現から合うものを選んで、伝えようとしている姿

3 単元の指導計画

【8時間扱い 本時5／8時間】

次	時	○主な学習活動 ・ 具体的内容 □ まとめ	□教師の働きかけ ☆思考アクティブ化ポイント 【 】評価（評価方法）
つかむ・見通す	①	○デモンストレーションを通して単元の見通しをもつ。 「思い出発表会」で小学校生活の思い出を紹介しよう。 ○本時の学習のねらいを確認する。 小学校生活での思い出を伝えるには、これまでに学習した表現のどれを使うとよいのだろうか。 ・ 6年間の行事などの写真を見ながら、様々な出来事を振り返る。 ・ 学校行事などの言い方を知る。 Sport Day, School Trip, Field Trip など ・ これまでの表現で使えるものを考える。 行事の英語での言い方をもっと知りたいな。どんな発表をしようかな。	□「思い出発表会」について、デモンストレーションVTRを視聴させ、学習の見通しをもてるようにする。 ☆新しい語句や表現に気付き、何が表現できるようになるとよいか分かる。 【思ア④比較する】 【主体的に学習に取り組む態度】 目的意識をもち、小学校生活の思い出を伝え合う活動への意欲を高めようとしている。 (観察・発言, ワークシート)
	②	思い出を伝えるために必要な語句や表現を身に付けよう。 ○思い出を伝えるために必要な学校行事や出来事の語句を身に付ける。 【語句】 Sport Day, School Trip, Field Trip, Drama Festival など ○自分の思い出を紹介する表現を知る。 【表現】 My best memory is～. 行事や出来事を表す語句を覚えることができた。自分の思い出を伝えることができそうだ。	□音声で覚えることができるよう、絵カードや文字を提示し、繰り返し発音する。 ☆自分の体験を振り返り、思い出に残っている出来事や行事を英語ではどう表現するのかとつなげる。 【思ア⑧関連付ける】 【知識・技能】 学校行事や出来事を表す語句や思い出を紹介する表現を身に付けている。 (観察・発言, ワークシート)
追究する	③	学級で一番人気のある行事や思い出を予想して、友達と思い出に残る行事を聞き合おう。 ○友達の思い出を聞くために必要な表現を身に付ける。 【表現】 What's your best memory? My best memory is ～. ○学級の友達の思い出を予想し、聞き合う。 ・ 学級で一番人気のある行事を予想する。 ・ 人気の行事を確かめるため、たくさんの友達に聞いたり答えたりする。 思い出を聞いたり答えたりする表現を身に付けることができた。 友達の思い出は予想と違っていたよ。	□聞き合う活動を通して、何が分からなかったのか、何が分かるかといいいのかを確かめ、子供が必要な表現を身に付けられるようにしていく。 ☆前時までに習得した語句や表現を使い、友達と聞き合うことができる。 【思ア⑭応用する】 【知識・技能】 思い出を聞いたり答えたりするために必要な表現を身に付けている。 (観察・発言, ワークシート)

追究する	(本時)	④ 自分の思い出とその理由について話したり書いたりしよう。 ○思い出とその理由や感想を話す音声教材を聞き、どのように表現すればよいかを知る。 ・分かった表現を真似る。 ○自分の思い出とその理由について考え、英語で書く。 ・これまでに学んだ、行ったところや楽しかったこと、感想などの表現を選んで理由を付ける。 My best memory is the school trip. I went to Sapporo. It was fun. ○聞く人を意識して、自分で考えた思い出を伝える表現を身に付ける。 ・自分の書いた文を繰り返し読む。 自分の思い出やその理由について、英語の表現を選んで書いたり話したりすることができた。	□掲示物や絵カード、これまでの学習で取り組んだワークシートなどを参考にして、考えたり書いたりするように助言する。 ☆前時までに習得した表現を使い、思い出やその理由を考える。 【思ア⑭応用する】 【思考・判断・表現】 自分の思い出やその理由について、これまで学んだ語句や表現から選び、英語を使って表現している。 (観察・発言、ワークシート)
		⑤ 自分の思い出を友達と伝え合い、これまでに習った表現を使ってスピーチを詳しくしよう。 ○友達のスピーチを聞き、知りたいことを質問する。 「What did you enjoyed?」 「I saw the dolphin show.」 ○グループの友達と感想やアドバイスを伝え合い、自分のスピーチを工夫し、発表し合う。 ・話し手は、やり取りで質問されたことや友達からのアドバイスを参考に、どの表現を加えると伝えたい内容になるか考え、修正する。 My best memory is the school trip. I went to the otaru aquarium. I saw the dolphin show. It was fun. 友達に質問やアドバイスをしてもらい、思い出を伝えるスピーチの内容を増やして詳しくすることができた。	□デモンストレーションを通して、学習を見通すとともに、話したり、聞いたり、書いたりするときの手助けになるように、使う語句や表現を掲示する。 ☆自分の思い出を詳しくするために、理由を付け加える。 【思ア⑩理由付ける】 【思考・判断・表現】 友達からの質問やアドバイスを生かし、これまでに身に付けた表現を使って、自分のスピーチを工夫・改善している。 (観察・発言、ワークシート)
		⑥ 英語が入ったイラストを作り、自分の思い出を分かりやすく伝えよう。 ○前時で考えた工夫を生かして自分の思い出を話す。 ○自分のスピーチを伝える手掛かりになるイラストを作る。 ・一番伝えたいことが分かるようなものを中心に書く ・友達と相談して、場面に合う簡単な英語を入れる。 ○作成したものをもちながら、自分のスピーチを話す。 My best memory is school trip. I went to hokudai museum. I saw a dinosaur bone. I was exciting. 英語の語句を入れたイラストが作れた。 作ったものを使って、自分の思い出を分かりやすく伝えることができそうだ。	□これまでに学んだ気持ちを表す言葉や文を書き写してよいことを伝える。 ☆スピーチが、分かりやすく伝わるようにするため、書き入れる語句や表現を考える。 【思ア⑭応用する】 【思考・判断・表現】 自分のスピーチが分かりやすく伝わるように、自分の思い出に合うイラストを作り、場面に合う英語の語句や表現を考えている。 (観察・作品、ワークシート)

追究する	⑦	グループで思い出発表会のスピーチを完成させよう。 ○グループで思い出発表を完成させる。 ・4人グループで、発表の順番を決める ・必要に応じて、自分のスピーチの順番を入れ替えたり、書き直したりして完成させる。 ○思い出発表会に向けて、繰り返し練習する。 ・できるだけ書いている文を見ないで言えるように覚えて話す。 ・イラストを効果的に使いながら話す。 ・身振り手振りを加えたり、表情や目線を意識して話したりできるようにする。 ・練習の様子をiPadで撮影し、アドバイスし合う。 Good smile./Good gesture./voice is small…big,voice! 自信をもって話せるようになった。 次の思い出発表会が楽しみだな。	□自信をもって話すことができるよう、個での練習やグループで話す時間を十分確保する。 ☆作成物を見せながら、伝えたい言葉を強めたり、ジェスチャーを付けたりして、分かりやすく伝わる話し方をグループの友達と相談しながら考える。 【思ア⑭応用する】 【思考・判断・表現】 これまでに学んだ語句や表現から伝えたい内容を選んで、自分やグループの発表を完成させている。 (観察・発言, ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた表現を使って、積極的に伝えようとしている。 (観察・発言, ワークシート)
まとめる・広げる	⑧	小学校生活の思い出発表会をしよう ○グループでALTや保護者に向けて思い出発表をする。 ・コーナーを作り、グループごとに発表会をする。 ○代表グループの発表を聞く。 ・聞き手は、相づちを打ったり、感想を伝えたり、質問をしたりしながら聞く。 I see./Good job! /sounde nice! /Great/That's nice. ・話し手は、ALTからの質問に答える。 What else did you do? /What kind of ramen? ・発表を聞いて、聞き取ったことや感想をワークシートに記入する。 ○友達やグループの発表のよさを発表する。 ○単元の振り返りをする。 グループの思い出発表会で、これまで学んだ表現を使いながら自分の思い出を英語でスピーチすることができた。○○さんのスピーチのよさをまねてみたいな。	□話し手も聞き手も目的意識をもって取り組み、話し手や聞き手のよさを全体で共有できるよう支援する。 ☆グループ発表や友達の発表のよさに気づき、感想を述べたり、自分の発表に生かしたりする。 【思ア⑮評価する】 【思考・判断・表現】 これまでに身に付けた表現を用いながら、友達やALTへ発表している。 (観察・発言) 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた表現を使って、相手に配慮しながら、相手の発表に対する自分の考えを伝えようとしている。 (観察・発言)